

《記入例》

令和8年度入学者選考

調査書

宮城県立支援学校 高等学園等共通

調査書等作成委員会

受 検 番 号

記載責任者



※No.

ふりがな	みやぎ たらう	性 別
氏 名	宮 城 太 郎	(男) 女
生年月日	平成 22年 12月 1日生	
卒 業 等	(令和・平成) 8年 3月 (卒業見込・卒業)	
学級種別	通常 特別支援(知的) 肢体 病弱 弱視 難聴 自閉・情緒 言語) 「入級年月日」令和 6年 4月 1日	

記載内容に誤りがないことを証明します。

令和 7年 11月 10日

学 校 名 ○○○○立□□□中学校

校長氏名 △△△

△△

印

1 障害の状況

障 害 名	(知的障害) 病弱 肢体不自由 視覚障害 聴覚障害	医療機関における診断名	
		療育手帳	(有) ・ 無
			次の判定年月 (令和 9年 6月)

2 身体状況

健康上の留意点	・卵アレルギーがあり、学校給食では代替食で対応している。 ・左耳の聞こえが弱く、座席配置を前にしている。		
てんかん発作	(有) ・ 無	服 薬 (有 ・ (無))	服薬名 ()
	発作の状況	中学入学前は年2回程度で激しい運動後に発作が起きていたが、中学入学後は発作が起きていない。医師の診断のもと、現在は服薬せずに経過観察している。	
服 薬 (てんかん以外)	有 ・ (無)	服薬名 ()	

3 欠席の状況

	欠席日数	遅刻	早退	事 由 (欠席日数が7日以上の場合に記入)
1 年	8	2	9	かぜ3、腹痛2、体調不良2、家事都合1
2 年	3	1	3	
3 年	0	1	0	

4 学習および性格・行動等の記録

学 習	日本の歴史とスポーツに強い関心をもっている。2年生の4月から知的学級の在籍となり、国語と数学、英語、理科については、小学校5～6年の内容を中心に学習を進め、おおそ理解を示していた。他の教科については、協力学級で通常学級の生徒と同様に授業を受け、個別の支援をほとんど必要とすることなく学習を進めることができた。
性格・行動	初めて行うことには消極的ではあるが、周りの生徒の協力によってさまざまな活動に取り組むことができた。口頭による指示である程度理解することはできるが、勘違いや早とちりしてしまうこともある。
社 会 性	通常学級の生徒とも関係が良く、心を許せる相手には積極的に話しかけることができる。1年生まで通常学級であったこともあり、集団行動・集団生活には慣れている。挨拶や返事も元気よくできるが、善悪の判断が未熟な部分があり、学校生活上のルールを守れずに指導する場面も何度かあった。
そ の 他	バドミントン部に所属し、個人戦だけでなく、団体戦のメンバーとしても多くの試合に出場した。自分ができないことを素直に認めたり、伝えたりすることが難しいので、いろいろな場面で本人の態度や様子を見ながら教師側から声掛けを行って助言や支援を行う必要がある。 保護者の仕事の関係で、令和5年4月に●●市立◆◆中学校に入学した後、令和6年4月に▲▲市立■●中学校、令和7年8月に本校へ在籍移動している。